



一般社団法人神奈川県作業療法士会

4ヶ年計画（2019-2022年）目的および後期（2021-2022年度）目標について



会長 神保武則

2021年9月16日作成



イラスト しみずたくと



会長挨拶

日頃より一般社団法人神奈川県作業療法士会（県士会）に多くのご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。今期より会長を拝命致しました神保武則です。

新型コロナウイルス感染症がパンデミックとなり2年目となりました。WITH コロナの生活が続き、我々医療専門職の職域活動や私生活にも多大なる影響が出ていることと推察致します。当県士会におきましても当初計画していた諸活動や業務運営にも、その影響が隠し切れない状態となってきました。終息はいつになるのか、誰しもが明日への希望を胸に日々現場で戦っていると思います。

非常に大変な状況下ではありますが、県士会に要求されることは多くあります。当県士会は毎年5月に社員総会を開催し各年度の事業計画や予算計画、および活動報告を致しておりますが、代議員制となって以降、実のところ会員の皆さまとの接点不足を痛感しております。

そこで、この度、当県士会の立案した4ヶ年計画の目的をはじめ、後期となる2021年度以降の目標や行動計画等を会員の皆さまに提示させて頂き、今後の県士会活動に向けて共有を図りたいと思う次第です。

県士会に所属する会員のため、そして県民の健康ために有益な活動を共に歩んでいければと切に願います。皆さまの更なるご理解とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



一般社団法人神奈川県作業療法士会

4ヶ年計画（2019-2022年）目的と前期（2019-2020年度評価）

◆目的「神奈川県民に対して質の高い作業療法を提供するため、会員の知識・技術向上を図ることは素より、国や県・市町村と協力して、地域に密着した作業療法が展開できるように、組織強化と整備を行うことを目的とする」

第8回社員総会議案書より抜粋

◆前期評価

- ①地域に密着した作業療法の展開に向け、作業療法士同士の情報共有や連携を強化する目的を遂行するために、エリア化推進委員会を発足させた。目的達成のために対策に取り組む準備をしてきたが、2019年度後期より新型コロナウイルス感染症の拡大により、計画していた事業の遂行が完結できず、2020年度の計画事業まで影響を受けた。
- ②新型コロナウイルス感染症が蔓延する状況下においても、計画事業の業務運用に対して最小限の影響に収まるよう、事務局の作業環境調整を実施し、会員に向けた知識・技術向上を図る調整をしてきたが、難しい対応や判断を強いられた。
- ③研修会マニュアルや会計マニュアルの見直し等の検討がなされた。
- ④研修会や会議に関しては、オンラインシステム環境の整備を行い一部実施が可能となった。
- ⑤公益事業への取り組みに向けた事業拡大を調整していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け課題を残した。



4ヶ年計画 後期（2021-2022年度）目標と背景

◆後期目標 県士会所属の作業療法士が、将来に向けた成長を見据え
「会員の知識・技術向上」「組織強化と整備」
「地域に密着した作業療法展開」を遂行できる土台を構築する

◆後期目標の背景

第8回社員総会にて提示した目的は本県士会にとって極めて重要な要素を含んでいる。この目的を遂行するために中長期計画として2021年度の後期目標を設定した。

今期新体制では新たに「**成長する神奈川県作業療法士会**」というテーマを掲げ、残りの2ヵ年に追加した。「**成長**」は将来に向ける思考とし、我々神奈川県作業療法士会に所属する会員同士が、未来に向け輝く「**成長**」を共に目指して行けるよう本目標を設定した。

- ・将来的に専門職種としても不可欠となる「会員の知識・技術向上」
- ・スピード感のある組織として「組織強化と整備」
- ・そして将来の地域や社会を鑑みた「地域に密着した作業療法展開」

※後期目標は、2022年度以降も更に推進を継続強化すべきものとして捉えている。



4カ年計画目的遂行に向けた 後期目標の行動計画

達成評価

後期目標
～2022年度

4
カ
年
計
画
目
的

2021年度行動計画

(1) 学術基盤の強化・整備

- ① オンライン併用の「研修会マニュアル」・
「学会マニュアル」環境整備
- ② 「会計マニュアル」整備・見直し
- ③ 会員に向けた“知識・技術・応用力”研鑽および推進
- ④ その他

(2) 県士会事業に占める公益事業への取り組み拡大

- ① 公益事業のニーズを具体化
- ② 行政窓口の把握
- ③ その他

(3) 神奈川県エリア化の 本格導入に向けた取り組み拡大

- ① 地域OTの枠組み構築
- ② 会員の集いや繋がり構築
- ③ その他

(4) 法人管理の充実と整備

- ① 事務局員の業務整理
- ② 会員登録の推進と管理体制強化
- ③ その他

県士会所属の作業療法士が、
将来に向けた成長を見据え
「会員の知識・技術向上」
「組織強化と整備」
「地域に密着した作業療法
展開」を遂行できる土台を
構築する



行動計画の「成長戦略」

「成長する神奈川県作業療法士会」

※成長戦略を指す3つのKey-word

「生産性: Creativity」 「独創性: Originality」 「協同性: Cooperativity」

「地域」に根差すOT展開の推進

「教育・学術の研鑽」
の推進を強化

生産性: Creativity

「広報基盤（好奇心促進）」
の推進

「公益化」
の実現検討

「JAOTとの協力体制」
強化

成長する県士会

「エリア化」
の推進事業

独創性: Originality

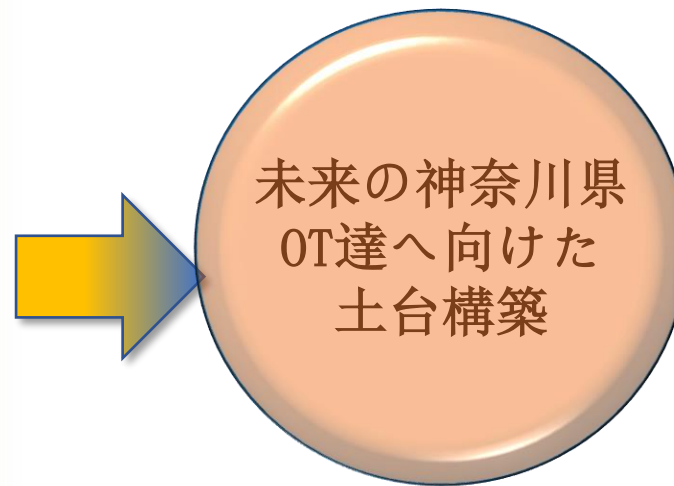
協同性: Cooperativity

「近隣OT士会との
協力体制」強化

「リハ専門職および
多職種との連携」の強化

「成長戦略プロジェクト」
構想の推進

「OTが集う場」の
バックアップ
体制実現計画



10年後
20年後



さいごに

1981年に約88名で発足した本県士会は今年で40周年を迎えます。2021年となった今、県士会の会員数は9月現在で約2500名に成長しました。

我々県士会はまだまだ成長していきます。

神奈川県内の作業療法や作業療法士の10年後や20年後はどのような立場にあるのでしょうか。

「今からできること」

「今から準備すべきこと」

これから誕生する作業療法士たちにも、もっと沢山の喜びや感動を味わっていただきたい。そして、「神奈川県の作業療法士は素晴らしい」と、誰からも評価される社会を目指していきたい、と切に願っております。

県士会理事の一人ひとりが、会員の皆さまからの声を大切にし、更なる県士会の成長を遂げるために今後とも努力を重ねて参ります。その上でも、当県士会が立案した目的や目標、そして行動計画を会員の皆さまと共有させて頂き、多くのご意見を伺えれば幸いです。

今後とも、県士会の更なる発展を目指し、皆さまの多大なるご理解とご協力を賜りますよう理事一同心よりお願い申し上げます。

